

## 其の五

# 豪快に川遊び

ラフティングで日野川ぐだり

## みんな大好き！ 川遊び

学校にプールなど、まだなかつた時代、夏休みともなれば子どもたちが泳ぎ、魚を捕つて、日野川は楽しい遊び場でとても身近な存在でした。しかし今は――？ そんな川遊びの楽しさをめいっぱい体験させてくれるのが、いま大人気のスポーツ、ラフティング。

数人で「ラフト」と呼ばれるゴムボートに乗り、手に手にパドルを持ってチーム一丸となっ

て日野川を上流から豪快に下る、その楽しさ、爽快さは筆舌に尽くせないほどです。

**息を合わせて激流に挑む**

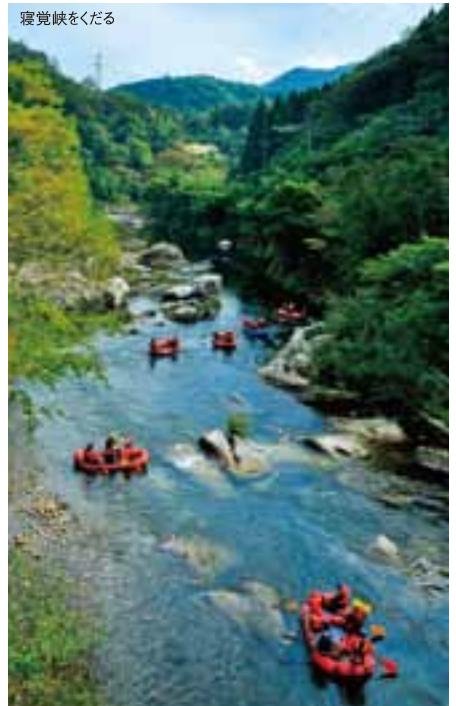
まずは念入りに準備体操してからスタート地点にラフトを運び、緩やかなポイントでパドルの扱い方を練習です。でも最初はなかなか要領が分からず、ちよと苦戦。

やつと慣れてきた頃、流れが速くなり、待ち受けける激流に悲鳴を上げ、岩場に激突したり、川に振り落とされたりと、

激流に挑む



丁寧に安全指導



## 楽しさ満載、ラフティング

やがて流れは、両岸から巨岩や木々が迫る渓谷・寝覚峡へ。川の流れが何百年、何千年をかけて創り出した大自然

の造形美に圧倒され、また感動しながらゴールを目指します。

激流へと向かうスリルや、そこから生まれる一体感、爽快

大自然の厳しさを、身をもつて体感することに。しかし激流に挑んでいく内に、気がつけばパドルを漕ぐタイミングも合ってき、チームの息もピッタリと。気持ちに余裕が出てきて、ザブンとかぶる水しぶきが気持ちいい！

の流れは、両岸から巨岩や木々が迫る渓谷・寝覚峡へ。川の流れが何百年、何千年をかけて創り出した大自然の造形美に圧倒され、また感動しながらゴールを目指します。

激流へと向かうスリルや、そこから生まれる一体感、爽快

大自然の厳しさを、身をもつて体感することに。しかし激流に挑んでいく内に、気がつけばパドルを漕ぐタイミングも合ってき、チームの息もピッタリと。気持ちに余裕が出てきて、ザブンとかぶる水しぶきが気持ちいい！

## 日野川で鮎釣りやカヌーも

6月から9月まで鮎釣りの太公望が集う日野川。またラフティングのゴール地点「カヌースラローム」の適地で、毎年大会も開かれ、貸し出し用カヌー20艇を設置し、トイレやシャワーを完備した休憩所もあります。

### お問い合わせ

日野町教育委員会事務局

TEL／0859-72-2107

Fax／0859-72-1484

<http://www.town.hino.tottori.jp/kankou/>

Doスポーツ／ホームページ

[http://www.geocities.jp/club\\_do\\_sports/hinogawakudari.htm](http://www.geocities.jp/club_do_sports/hinogawakudari.htm)

◆料金その他は左記へお問い合わせ下さい。

(日野町下樓)

Tel／0859-77-0333

【定員】各コース(要相談)

【集合場所】リバーサイドひの駐車場

【料金】各コース20名(要相談)

(約8km/昼食も含み)

【コース】

●半日コース

(約4km/午前と午後の2回)

●1日コース

(約8km/昼食も含み)

【料金】各コース20名(要相談)

(日野町下樓)

Tel／0859-77-0333

【料金その他は左記へお問い合わせ下さい。

## 秋から冬への風物詩

## 絶景を愛でる。

## 明地峠の雲海

稻刈りも終わり秋の気配が次第に色濃くなつてくる時期の早朝、根雨から国道180号を岡山県新見市へと向かつて約8km。明地峠にはその”絶景”を何とかモノにしようと多くの写真爱好者が訪れます。

雲海が出やすい条件は、①大陸の高気圧が張りだしてよく晴れ、②冷え込みが厳しく、③風もないこと。そんな日の翌朝、眼下には一面、雲海が広がつて山あいの里を白く覆います。その向こう遙かに神々しく

す。

現地には撮影に適した展望台が何カ所かあって微妙にアングルが違い、季節やコンディションによつても多彩な写真の出来映えが期待できます。

明地峠は標高約620m  
大山までは直線距離で約23km

台が逆光となり、日の出前からかなりの時間、さまざまな光の色の変化が楽しめます。



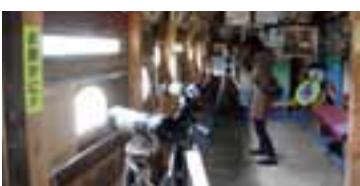
鳥取県の鳥、日野町の鳥であるオンドリ



オス(右)とメス(左)

## オンドリの住むまち

大きく美しい銀杏羽を持つオスと、グレーを基調とした色合いのメス・・・。仲の良い夫婦に例えられるように、そんな雌雄が寄り添う姿が愛らしいオンドリ。長年の餌付けの努力で毎年11月上旬から3月下旬にかけてシベリア東南部から当地に飛来し、根雨の日野川の岸边にある観察小屋から



オンドリ観察小屋

観察小屋はJR根雨駅より徒歩で約5分。観察用のスコープなども整備され、近くには喫茶店を兼ねた「オンドリ資料館」やうどん屋さんもあります。

◆オンドリのほか、マガモ、コガモなどのカモ類、カワセミ、ヤマセミ、アオサギ、コサギなど、多くの野鳥を見るることができます。

お問い合わせ

オンドリグループ事務局 Tel&Fax／0859-72-0271(森田)

## 郷愁を誘う里の秋



後谷の秋景

人里離れた集落の秋から冬への風景は、都市化が進んだ現代にあつてはそれ自体が”絶景”だとも言えます。

秋、奥日野の自然がひときわ色鮮やかさを増し、冬に向かつて眠りに就く・・・日本人が愛してやまないそんな季節の変化が、この日野町では各所で楽しめます。

# 知る人ぞ知る。

鵜の池～長楽寺～黒坂へ  
隠れた周遊ルート

鵜の池は  
季節の彩りを湛えて

かつては地元の小中学校の遠足<sup>たたかひ</sup>：といえばこでした。標高420メートル、山々に囲まれた鵜の池の一周は約2・3キロ。新緑から紅葉へと移り変わる木々の色を映す、静かな水面を眺めながらの湖畔の散策がおすすめのスポットです。

昔、鯉の養殖がされたこともありました。昭和15年、日南町大宮から約10キロにわたって水が引かれ、いまは黒坂発電所に水を落としています。毎年6月にはマラソン大会が開催され、夏は湖畔のキャンプ場にぎやかな声がこだまします。



鵜の池に春の訪れ

秋は色鮮やかな紅葉を  
湖面に映します

\*藤原期／遣唐使が廃止された894年から、平家が滅亡した1185年くらいまでの期間を指します。



黒坂駅から見た鏡山城址

曹洞宗瑞光山泉龍寺  
幕末の頃、鳥取藩の勤皇派の「因幡二十二ヶ寺」が幽閉された歴史がある。

おしゃべりカフェ(黒坂／日野町公民館1階)

地元の人たちと気軽なおしゃべりが楽しめる交流サロンです。  
開店日／毎週火・木、第3金曜日 開店時間／10:00～15:00

◀薬師如来(中央)と  
日光菩薩(右)、月光菩薩(左)

## 秘仏を安置する長楽寺

こんな小さな山寺に、何故こんな立派な仏像が…と訪れる人を驚嘆させる曹洞宗医雲

山長樂寺。

本尊で国の重要文化財である薬師如来、脇侍の日光、月

光菩薩は、藤原期の様式で、面相端正にして衣文流麗、たいへん品格があります。また、わが

國の中でも指折りの傑作と言われる、精緻な造りの毘沙門天（重文）、その他、不動明王（重文）や十二神将像（町指定文化財）といった仏像が庄厳です。加えて、備後の狩野派絵師・法橋索準の手になる本堂の格天井の花鳥画も必見です。

### 【長楽寺の歴史】

平安の昔、鵜の池北岸に七堂伽藍、十二僧房を有する壯麗な寺院として在ったと伝えられていました。

◆仏像拝観には事前申込が必要です。  
お問い合わせ  
TEL／0859・72・2107

## 城下町の面影を残す黒坂

根雨から日野川を遡ること、約8キロに位置する黒坂。

その名は、村の周囲に入り口となる九つの坂があり、「九路坂」と称していたことからだ

とされています。

1610年（慶長15年）、伊勢亀山から転封された関一政

が鏡山城を築いて本拠とし、惣構えとしての町割もなされました。その後も幕末まで鳥取藩の重臣、福田氏の治

下（自分手政治）にあって、陣屋町として、また生山・多里

方面へと至る「日野往来」、滝山・石見方面へと至る「玉島街道」の宿駅として栄えました。もともと城下町として成立したことから、狭い町を

囲み、守るように神社二社と

五寺院が集中しており、平成12年の鳥取県西部地震でダメージを受けたものの、町並みは今もその面影を色濃く残して、しつとりとした情緒を醸しています。

芝桜の名所、下黒坂  
下黒坂集落は鵜の池の下にあり、花はちょうど大型連休の頃が見頃です。

◆ドライブにおすすめ  
真住地区から滝山公園の上を通り、菅福地区へと続くルートからながめる景色も秀逸です。

春はツツジ、秋は紅葉が  
美しい滝山公園

滝山公園は、JR黒坂駅から南へ約2キロ。日野川を越え、天郷坂を登つたところにあり、ツバツツジが咲き始め、金山を濃い紅紫色に染めあげます。

## 縁の伝説に興味津々。

満開のミツバツツジ

滝山公園から菅福へ



ミツバツツジ  
枝先に葉が3枚輪生するミツバツツジ。滝山公園ではそれらの中に、大山で発見された「ダイセンミツバツツジ」もわずかに混じっています。

**滝山神社と龍王滝の伝説**

駐車場そばの鳥居をくぐり、木立の中を渓流に沿つて上がりしていくと、三穂(みほ)津姫命(みつひめのみこと)を祭神とする滝山神社、そして御神木とも言える杉の巨樹の先には、高さ50メートルといわれる龍王滝があります。

滝山神社には平安の昔、須賀(菅)の郷、井ヶ城城主の夢枕に現れた天女のお告げにより建立したとの伝説が残され、また龍王滝には、小泉八雲が諸国奇談の一つ『幽霊滝の伝説』として紹介したことでも一躍有名になつた天狗の言ひ伝えが残されています。



**孝靈天皇に縁の菅福神社**  
菅福地区、日野川に架かる乘越橋のそばに「菅福神社」の社叢を見ることができます。

第7代孝靈天皇とその血族を主祭神とし、かつては高宮(皇宮)大明神と呼ばれています。天皇の皇后「福姫」にまわる物語をいまに伝えていました。

### 地名に残された物語

福姫命が沐浴されたところを「産盟」、皇后が川の瀬音を鎮めるため真澄の鏡を置かれた石を「鏡石」、一面に生えた菅を刈つたことからこの地を

菅の里といい、またここが都の都であつたことから「都の郷」、転して「都郷」、後に「都の

合」と呼ぶようになつたのです。他所にない面白い伝説で

**都合山たら遺跡**

上菅から都合谷川にそつて、「たら街道」を2キロあまり。明治20年代、鉄山師・近藤家によつて操業された都合山たたら遺跡があります。当時、東京帝国大学の依國一博士がここで現地調査を行い、その詳細な記録が現存しているということ、学史的にたいへん貴重な遺跡なのです。いまは杉林の中に静かに眠るの場所に、往々よく見られる見どころもあり、ウォーキングを兼ねて遺跡を訪れる方も多く、ガイド付きのイベントも開催されます。



### 小さな蔵美術館(上菅)

1階は、絵画などの企画展、2階は古美術品などの展示。入館/無料  
お問い合わせ Tel/090-5697-1335(小谷)

## 主な体験内容

苔玉づくり

1月／手作りコノニヤク

2月／手打ちうどん

3月／ジャガイモ植え

5月／田植え

6月／ジャガイモ掘り

7月／乳酸飲料づくり

9月／稻刈り

10月／大根掘り

11月／たくあんづくり

12月／手打ちそば

所要時間／約3時間(昼食付)  
体験料金／実費500円程度  
最低催行人員／10名

※いずれも参加申込が必要です

※詳しい日時については  
お問い合わせください。

Tel／0859-740136(小谷)

# 土に触れ、食を学ぶ。

体验いろいろ！

其の九



## 奥日野ガイド俱楽部

平成24年の発足以来、根雨のまち歩き「ねうづら」や「出雲街道散策」、また「大人の遠足」などのイベントを開催し、またご希望の日程に合わせてオーダーガイドを行っています。

※3・6ページ参照

● 苔玉づくり  
これらのイベントに併せた人気のオプションメニューが「苔玉づくり」。小さな木や草、シダ類などを材料に、思い思いに作品をお作りいただき、たい

● 奥日野五山登頂イベント

奥日野ガイド俱楽部は日野町内での活動の他、日野郡全域での取り組みも行っていて、春と秋には「奥日野五山・登頂イベント」を実施。五山のひとつ「宝仏山」は、登山口が根雨で、アクセスはいいですが

山頂まで垂直距離800メートル……と、ちょっとハード。でも山頂に立った気分は最高です。

そば道場たたらやでは、ざわらぎで「そば打ち体験」を行っています。所要時間は3時間あまり。分かりやすくその極意をお教えしますので、初めての方でもきっと美味しい蕎麦が打てます。

※5日前までにご予約ください。  
(1~6名)

● そば道場たたらや(根雨)  
Tel&Fax／0859-722-2261



## 里山元気塾

菅福地区で平成16年に発足した「里山元気塾」は、①食べてもらう人の喜ぶ顔を思って、②地域の人材「匠みの技」を活かし、③都市の人たちとの交流活動によって地域を活性化することを活動理念として、年間を通じてさまざまな農業体験や食品づくり

のイベントを開催しています。

その内容は、野菜の苗植えや種まき、椎茸の植菌、そしてそれらの収穫体験、そば打ちや乳酸飲料づくり、もちろん体験の後には、自分たちで育てた野菜や加工品などを食し、お土産として持ち帰るという「ごほうび」も準備されています。

